



Made in Japan

SHIKKUI
KURUMU-SOTO/KOTEOSAE



従来の漆喰を超える 優れた機能

平滑で美しい 日本の伝統的 左官仕上げ

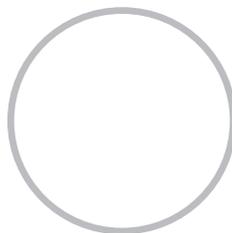
「鏝押さえ専用の漆喰」

外装上塗り用漆喰

鏝押さえ

漆喰くるむ[®] 外

SHIKKUI KURUMU-SOTO/KOTEOSAE



鏝押さえ-白
(N-93)

漆喰くるむ 外鏝押さえは、白のみです。採用の際は、色見本帳をご確認ください。

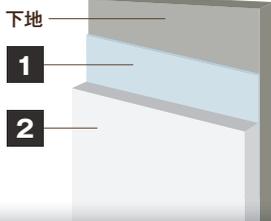
漆喰くるむ 外鏝押さえは自然素材です。下地・押さえ方により色・表情が多少異なります。カラー名表示下()内の内番号は、日塗工近似色番号です。

標準仕様							
商品名	用途	適用部位	標準塗り厚	適用下地	荷姿・性状	施工面積	正味
漆喰くるむ 外鏝押さえ	外装上塗り用漆喰	外壁・外扉	約1.0mm	モルタル・コンクリート・アクリル塗料・ウレタン塗料 アクリルリシン・セメントリシン 合成樹脂エマルジョン系仕上材・漆喰など	ペースト(プラスチック缶)	約13㎡/缶	ペースト18kg

施工についての詳細は裏面と施工要領書をご確認ください。

漆喰くるむ 外（鍍押さえ）の施工方法

モルタル下地 コンクリート下地



1 シーラー塗布

脆弱部、レイタンス、汚れ等を入念に除去し、下地面全面にNPシーラック3倍液（NPシーラック1:2清水）を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。
※下地に不陸がある場合は、モルタル等で事前に付け送りをを行い、必ず平滑にしてください。

2 上塗り

容器を開けてそのままご使用ください。練り混ぜは不要です。漆喰くるむ外（鍍押さえ）を、コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗りつけた後、追っかけて仕上げ塗りを行ってください。その後、水引きのタイミングをみてコテ押さえを行ってください。



※下ごすりから仕上げ塗りまでの時間は、温度、湿度、風の有無、下地の状態などによって異なります。事前に試し塗りを行ってから施工してください。

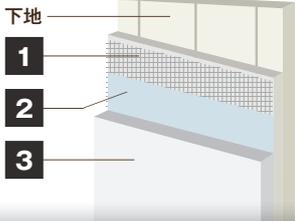
※練り混ぜは不要ですが、必要に応じてハンドミキサー等で攪拌し、ご使用いただけます。

3 養生

施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風が当たる場合は、ひび割れの発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。

最終養生期間
通常期3日以上、冬期5日以上

無塗装サイディング板下地



1 漆喰くるむ専用ベース材練り混ぜ・塗り付け

漆喰くるむ専用ベース材に所定量の清水を混入し、ハンドミキサー（回転数1,000rpm以上）等を用いて3分以上均一に練り混ぜてください。

混練材料は加水後、夏期40分、冬期60分以内に使用し、練り足しおよび水を加えての練り直しは行わないでください。

コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗りつけた後、追っかけて当社製の耐アルカリガラスネットを伏せ込んで塗り付け面を平滑にしてください。

上塗り工程までの養生期間
通常期12時間以上 ■ 冬期24時間以上

2 シーラー塗布

下地面全面にNPシーラック3倍液を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。

3 上塗り

容器を開けてそのままご使用ください。練り混ぜは不要です。漆喰くるむ外（鍍押さえ）を、コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗りつけた後、追っかけて仕上げ塗りを行ってください。その後、水引きのタイミングをみてコテ押さえを行ってください。



※練り混ぜは不要ですが、必要に応じてハンドミキサー等で攪拌し、ご使用いただけます。

※下ごすりから仕上げ塗りまでの時間は、温度、湿度、風の有無、下地の状態などによって異なります。事前に試し塗りを行ってから施工してください。

4 養生

施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風が当たる場合は、ひび割れの発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。

最終養生期間
通常期3日以上、冬期5日以上

改修の場合【下地の凹凸なし】 アクリル塗料・セメントリシンなど

1 シーラー塗布（漆喰下地の場合） またはNP-αで下塗り

●漆喰下地の場合
脆弱部や汚れ等は入念に除去してください。旧塗膜に浮きや剥れがある場合は、必ず除去し、NPシーラック3倍液（NPシーラック1:2清水）を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。完全に乾燥したことを確認してから次工程（上塗り）に進んでください。

●その他の仕上げ材の場合
脆弱部や汚れ等は入念に除去してください。旧塗膜に浮きや剥れがある場合は、必ず除去し、吸水が大きい下地の場合は、NPシーラック3倍液（NPシーラック1:2清水）を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。NP-αで下ごすりを行い、追っかけて所定の塗り厚まで塗り付けてください。

上塗り工程までの養生期間
通常期12時間以上 ■ 冬期24時間以上

2 上塗り

漆喰くるむ外（鍍押さえ）を、コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗りつけた後、追っかけて仕上げ塗りを行ってください。その後、水引きのタイミングをみてコテ押さえを行ってください。

※下ごすりから仕上げ塗りまでの時間は、温度、湿度、風の有無、下地の状態などによって異なります。事前に試し塗りを行ってから施工してください。

※練り混ぜは不要ですが、必要に応じてハンドミキサー等で攪拌し、ご使用いただけます。



3 養生

施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風が当たる場合は、ひび割れの発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。

最終養生期間
通常期3日以上、冬期5日以上

改修の場合【下地の凹凸あり】 アクリル塗料・セメントリシンなど

1 シーラー塗布

脆弱部や汚れ等は入念に除去してください。旧塗膜に浮きや剥れがある場合は、必ず除去し、吸水が大きい下地の場合は、NPシーラック3倍液（NPシーラック1:2清水）を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。

2 不陸調整

漆喰くるむ専用ベース材に所定量の清水を混入し、ハンドミキサーで良く練り混ぜてください。練り混ぜた材料を塗り付けて、下地の凹凸を平滑にしてください。※必要に応じて当社製の耐アルカリガラスネットを併用して施工を行ってください。

上塗り工程までの養生期間
通常期翌日以降 ■ 冬期24時間以上

養生期間後、下地面全面にNPシーラック3倍液を刷毛やローラーで、ムラなく塗布してください。

3 上塗り

漆喰くるむ外（鍍押さえ）を、コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗りつけた後、追っかけて仕上げ塗りを行ってください。その後、水引きのタイミングをみてコテ押さえを行ってください。

※下ごすりから仕上げ塗りまでの時間は、温度、湿度、風の有無、下地の状態などによって異なります。事前に試し塗りを行ってから施工してください。

※練り混ぜは不要ですが、必要に応じてハンドミキサー等で攪拌し、ご使用いただけます。



4 養生

施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風が当たる場合は、ひび割れの発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。

最終養生期間
通常期3日以上、冬期5日以上

施工後、強い風を塗り付け面に直接当てると、ひび割れが発生しやすくなるので注意してください。施工の詳細は、漆喰くるむ 外（鍍押さえ）の施工要領書をご確認ください。

■気温が5℃以下および35℃以上の場合は、施工を見合わせてください。■本製品保管の際は凍結厳禁です。一度凍結したものは使用できません。■本製品は既調合品であるため、現場での練り混ぜ及び水を足しての練り直しは絶対に行わないでください（下地の凹凸を均すための下塗りは除く）。■施工前に必ず試し塗りを行い、パターンの付け方、仕上がり、および、乾燥具合の確認を行ってください。■本製品は自然素材です。塗り方、気象条件、製造ロットなどによっては、若干色差の出る場合があります。■冬期・梅雨期など、気温が低く、湿度が高い条件では白華現象が生じやすいため、シート養生など適切な処置を必ず行ってください。■極端にパターンに凹凸がある場合、また気温・温度・風などの施工環境によっては、ひび割れが発生する恐れがあるため注意してください。■製造年月日を確認し、製造日から12か月以上ものは使用しないでください。■材料が余った場合は、表面が空気に触れないように付属のラップフィルムを余った材料の上にして、容器を密封して凍結しない冷暗所で保管してください。

JIS A 909（建築用仕上塗材）による試験結果

試験項目	単位	漆喰くるむ外	品質基準*1
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	—	ひび割れなし	ひび割れないこと
付着強さ	標準養生	1.6	0.5以上
	浸水後	1.6	0.3以上
温冷繰り返し	—	ひび割れ、剥がれ及び膨れなし 著しい変色なし	ひび割れ、剥がれ及び膨れがないこと 著しい変色がないこと
耐衝撃性	—	ひび割れ、著しい変形 及び剥がれなし	ひび割れ、著しい変形 及び剥がれがないこと
耐アルカリ性（A法）	—	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び 軟化溶出なし 浸さない部分に比べて、 著しくもろみ及び変色なし	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び 軟化溶出がないこと 浸さない部分に比べて、 著しくもろみ及び変色がないこと

*1：外装薄塗材Eを参考

記載の数値は自社での測定値であり、保証値ではありません。

記載内容は、2021年2月1日現在のものです。
改良のため予告なしに商品の仕様の一部を変更する場合があります。



日本プラスター株式会社

【本社・工場】〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851
【東京営業所】〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
TEL:03-3831-3239(代) FAX:03-3835-2048
【西日本営業所】〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170
TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032